

Unit 4

(概要)

Part 2(応答問題)対策として、5W1Hの質問文形式の内、疑問代名詞 Who, What, Which の聞き分けと典型的な答え方を学びます。Unit 3 とほぼ同じ流れで進めることができます。

Part 5(短文穴埋め問題)対策では、接続詞関連語句(つなぎ言葉)に取り組みます。重要テーマにつき、2回に分けて学習します。今回は逆接、因果、対比を表す語句をテーマにします。

Speaking Test 問題(P61)では、応答問題を練習します。リスニングで学ぶ内容とリンクしているため、取り組みやすいでしょう。

◆ Unit 4 Listening (45 分)

時間配分目安	授業進行案	問題数
Step 1-1 (5 分)	Part 2 の例題に取り組みます。Part 2 の問題形式説明を兼ねて、音声を 2 回ずつ流すと良いでしょう。	TOEIC 形式 3 問
Step 1-2 (10 分)	Step 1-1 の応答をディクテーションします。数回繰り返し音声を再生することをお勧めします。	3 問
Step 2 (10 分)	Who, What, Which の質問に対する典型的な答え方を解説後、確認として Step 2 に取り組みます。	4 問
Step 3 (20 分)	TOEIC 形式の問題に取り組みます。問題を解き終えた後には、次ページのスクリプトを見て、ペアで意味を考えながら正答を探してもらおうと良いでしょう。	TOEIC 形式 15 問

◆ Unit 4 Reading (40 分)

時間配分目安	授業進行案	問題数
Step 1 (10 分)	3 種類の接続詞関連語句を解説した後、これらの語句を文中にて分類する問題に取り組みます。	6 問
Step 2 (15 分)	逆接、因果、対比を表す語句を表を使って分類します。完成した表を覚えることが重要です。	10 問
Step 3 (15 分)	本ユニットで学習した接続詞関連語句を使った問題に取り組みます。全文の意味を考えることも大事ですが、文の構造に重点を置くことで正解を選びやすくなります。1 問当たり 30 秒-60 秒以内で解くことができます。	TOEIC 形式 14 問

◆ Speaking Test (5 分)

時間配分目安	授業進行案	問題数
Speaking Activity (5 分)	Part 2(応答問題)で学んだ内容を活用することを意識してもらおうと良いでしょう。	TOEIC 形式 2 問